

SFIA 9 へのバージョンアップとタスク大幅拡充に伴う Wings II の改訂

一般社団法人 iCD 協会（東京都千代田区、理事長：金 修）は、過日、グローバル標準「SFIA」（Skills Framework for the Information Age：世界で最も利用されている IT 人材の育成や評価のためのスキル標準）と iCD タスクディクショナリの連携に関するプロダクト「Wings II」を発表、多くの企業に活用いただけてきておりますが、今般、

- SFIA 9 へのバージョンアップ
- iCD タスクディクショナリの大幅拡充

にあわせ、「Wings II」の改訂を行いました。

（Wings II に関しましては日経コンピュータ 2025 年 9 月 4 日号に詳説がございます[日経コンピュータ 2025 年 9 月 4 日号 | 日経クロステック \(xTECH\)](#) 詳しい内容は弊協会までお問い合わせください）

1. SFIA 9 バージョンアップの概要

① 新しいスキルと職務の追加

SFIA 9 では、特に以下のような新しいスキルや職務が追加されました

- ✓ デジタルトランスフォーメーションに関連するスキル
- ✓ クラウドコンピューティングや AI（人工知能）、機械学習に関連するスキルの拡充
- ✓ サステナビリティやエシカル（倫理的）技術に関連する新しい職務やスキルの追加

これにより、現在のテクノロジー業界の進展を反映させることができ、より幅広い分野でのスキルや役割に対応できるようになっています。

② 職務レベルの再定義

SFIA 9 では、スキルのレベル設定がさらに明確にされ、職務の定義がより細かく、具体的になりました。特に、高度なスキルを求められる役職については、責任範囲や求められる成果のレベルがより具体的に定義されています。これにより、キャリアパスの明確化や、スキルの発展段階がより一貫性を持って評価できるようになっています。

③ 新しい技術領域の強化

サイバーセキュリティの重要性が高まる中で、セキュリティ関連のスキルセットが強化されました。データサイエンスやデータエンジニアリングに関連するスキルの追加や強化があり、データ主導の意思決定の重要性が増しています。

④ グローバルな適応性の強化

SFIA は国際的に広く使用されているフレームワークであり、SFIA 9 では、特に多国籍企業やグローバルチームでの活用に適した形で、各国や地域の特性に合わせたスキルや職務のアジャストがしやすくなっています。

2. iCD タスクディクショナリの大幅拡充

弊協会 10 月 9 日リリースの下記情報をご参照ください。

[【10/9 プレスリリース】iCD タスクディクショナリの大幅拡充について | iCDA](#)

3. 改訂版 Wings II

[illegible]

※ SFIA 9 では、141 のスキル項目が定義されておりますが、上記はこれらを集約してまとめたバージョンです。141 種対応のフルバージョンも別途用意しております。

※ iCD の方が対象カバー範囲が広いため、SFIA 外のスキル（職種）についても整理・拡充しております。「経営企画」「ラインマネジメント」「SES」「情シス部門」「クラウドエンジニア」等別途設定があります。

※ 実際には、上記各スキルの下部にタスクとのクロスリファレンスが下記のように定義されます。

[illegible]

弊協会ではこれからもグローバル標準との連携をすすめ、世界最先端のタスクとスキルの要素を取り込めるよう対応していく予定です。また、すでに iCD をお使いの企業様が、「Wings II のビューで見た場合にどのような人材が何人いるのか」を判定するサービスも追ってリリースいたします。

■一般社団法人 iCD 協会

本社所在地：〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-2-22 千代田ビル 6F

理事長：金 修

設立：2018 年 2 月

事業概要：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iCD (i コンピテンシ ディクショナリ)」に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等

URL：<https://www.icda.or.jp/>

当リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人 iCD 協会

担当：広報担当

Mail：icda-info@icda.or.jp

Tel：03-4530-6226